

# 余市町「新たな道の駅」を核とする 交流拠点施設整備運営事業

(概要版)

【提案事業者：大和リース株式会社 札幌支店】

### 余市町「新たな道の駅」を核とする交流拠点施設整備運営業務

#### 【委託業務】

- ・ 設計業務
  - ・ 建設業務
  - ・ 維持管理/運営業務
  - ・ エリアマネジメント推進業務
- +
- ・ 事業者独自の付加価値提案

#### ● 広域観光の促進及び産業振興のための拠点形成

- ・ 道の駅の魅力化
- ・ 俱知安余市道路から道の駅への引き込み、道の駅から北後志地域全体への波及

#### ● 後志地域の交通結節点の形成

- ・ 路線バス、観光バスなどの2次交通整備
- ・ 休憩・飲食機能整備

#### ● 町民の交流の場と新たなコミュニティの形成

- ・ 北後志エリアにかかわる関係人口の拡大

1. 地域農産物のブランド化促進と販売を最大化するため、産直の常設販売やここでしかできない食体験を実現
2. 地域水産物のリブランディング・リプレイス・リクリエイトの促進
3. 「北のフルーツ王国よいちワイン特区」としての体験価値づくりとさらなる価値向上ための情報発信拠点
4. 観光バス、路線バス、タクシー会社等の交通事業者と連携し余市ICでの降車数減少防止と降車数増加の実現
5. 定期的な地域コミュニティイベントを実施し、通年で多世代が集える場づくり
6. ゼロカーボンでBCP対策に対応した防災の道の駅の実現
7. 新たな町づくり参加者の発掘とまちづくりに関わる関係人口の創出

# 代表事業者：大和リース株式会社 会社概要・コンソーシアム

## 代表事業者 会社概要

- 【会社名】 大和リース株式会社
- 【本社】 大阪府大阪市中央区農人橋2丁目1番36号
- 【札幌支店】 北海道札幌市東区北42条東17丁目6-12
- 【創業】 1959年(昭和34年)6月22日
- 【代表者】 代表取締役社長 北 哲弥
- 【札幌支店】 札幌支店支店長 稲垣 仁志
- 【資本金】 217億6,838万2,519円
- 【従業員】 2,398名
- 【売上高】 2022年3月期 243,373(百万円)

## コンソーシアム体制図



代表企業が中心となって構成企業、さらには地元企業との協力・連携体制を協議し利用者目線に立った施設の企画と運営目線に立った施設を整備し、本施設を拠点に未来を見据えたエリアマネジメントに取り組み、関係する多くの企業と、連携をして事業を遂行します。